

Contents

- ❖ 設立記念講演会報告「マツダの開発の方向と産学官連携への期待」 1
- ❖ 活動報告(9～10月) 2
- ❖ 産学連携商品紹介 3
- ❖ 資金調達情報 3
- ❖ これからの活動(イベント)情報 4
- ❖ コーディネーター紹介 4
- ❖ 編集後記 4



設立記念講演会報告

「マツダの開発の方向と産学官連携への期待」

本研究協力会副会長のマツダ(株)金井誠太副社長に御講演をいただきました。

お話は、自動車の歴史のレビューに始まり、自動車産業の課題、マツダの開発の方向、産学官連携への期待、という一連のテーマに及びました。明確な意思と具体的な実践にもとづくお話は迫力があり、大変示唆に富むものでした。

マツダの研究開発についてのお話では、パワートレインや軽量化などベース技術の徹底追及、回生ブレーキやモーター駆動などの新技術開発、さらに、コモンアーキテクチャーやフレキシブル生産などによるモノ造り革新が体系的かつ同時並行に進められて、システムが完成する道筋をお聞きして、最近注目を集めている SKYACTIV のブランドの裏にある幅広く深い技術の体系に感銘をうけました。また、SKYACTIV エンジンの燃焼技術に広島大学との共同研究成果が反映されているお話は大変心強く感じました。

産学官連携については、環境、資源、安全、情報・通信、さらに新興国における需要・生産の急拡大、後継者不足等の多様な課題に対応するためには、さらに幅広い分野で体系的な連携が必要であることの指摘がありました。そして、日本の唯一の資源は「技術」それを生み出すのは「人」という御講演のまとめから、本研究協力会の場を活用した会員企業と広島大学の密接なコミュニケーション、組織的な研究連携や人材育成における大学の役割の重要性を再認識しました。

(文責：橋本 律男)





Report 1 「広島大学産学官連携推進研究協力会」設立総会開催報告

広島大学産学官連携推進研究協力会（以下、研究協力会と略称）は昨年(2010年)11月に設立され、会員数が100（法人会員・個人会員・賛助会員）を超えましたことを機会に、設立総会が開催されました。

まず総会では、研究協力会の設立経緯等について、総合進行役の宮地社会連携推進機構長より説明がなされました（右上写真）。続いて、委任状を含む会員過半数以上のご出席により、総会が成立することが報告されました。規約により本会の会長は広島大学長が務めることになっており、浅原学長が会長としての挨拶をされました（右下写真）。

以下、議事に移る前に、研究協力会がすでに実施中の事業（「技術・研究紹介と交流のゆうべ」、「地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム」など）について事務局より紹介されました。

引き続き、浅原会長が議長を務め議事の進行に移りました。まず、報告事項として規約の説明が事務局よりなされました。続いて、審議事項に移り、最初に本研究協力会役員の委嘱・紹介が行われ、その後、本会の中に置く「活動評価委員会」委員の議長提案がなされ、満場一致で承認されました。

次に、事務局より本年度（未実施の事業も含む）事業計画(案)、ならびに予算(案)について詳細な説明がなされ、審議の結果、満場一致でこれらの(案)は承認されました。その他については格段のご意見もなく、最後に澤産学・地域連携センター長による閉会の挨拶により設立総会は無事終了しました。

今後は事業計画を着実に実行し、本学と会員の皆様方がお互いに Win-Win の関係が構築できますように努力致す所存でありますので、ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(文責：白浜 博幸)



Report 2 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラムを8月8日から開始しました。この研修は第一線で活躍中の若手技術人材に、課題解決、企画、開発のための多様な知識や経験を積む機会を提供することを目的に行います。

毎月1回開催し、受講者は約40名。第2回目の9月12日はテーマを「ゴム・樹脂の接着技術」として、産学・地域連携センターの高田副センター長が講義を行いました。

接着の基礎理論から始まり、繊維と樹脂の接着や繊維とゴムの接着、最近の技術動向について講義を行いました。

高田副センター長は異種材料を組み合わせ、新たな性能を発現させる複合材料のキーテクノロジーであるとして接着の重要性について説明。タイヤやスポーツ用品など具体的な事例を上げて、初心者にも分かりやすく講義を行いました。

受講者から質問が多数出るなど、皆熱心に受講されていました。

今後のスケジュールは、4頁に記載しております。

(文責：山口 裕介)



このページでは、企業と広島大学との共同研究の結果、商品化につながったものを紹介して参ります。

産学連携商品紹介

穀粒判別器

3つのセンサと画像処理によって、米一粒一粒の外観品質を判別して重量比で表示、等級格付けのための客観データを提示します。3つのカラー CCD センサを装備。表・裏・側面の3方向から見るので、厚みが薄く充実の不十分な未熟粒や、わずかな着色も見逃しません。センサ1つあたり画像を2000分割して画像処理。長さ・幅・厚み・投影面積等も計測します。微妙な色の違いや、奇形等の形状も正確に認識できます。また、体積を計算して判別に使用できます。



穀粒判別器型式：RGQI10A



商品情報

2003年度日本食品工学会技術賞受賞
2003年3月発売 販売実績1,500台



関係機関・研究者

広島県立総合技術研究所西部工業技術センター
広島大学 岩田稔教授(当時)
(株)サタケ



穀粒判別器に搭載する FPGA

資金調達情報

共同研究や商品開発を行う際の必要資金の調達方法を調査し、お知らせします。

今回は金融機関の融資制度について、広島銀行と呉信用金庫に問い合わせを行いました。

融資関連

金融機関名	広島銀行	呉信用金庫
商品名	サポートプラス	ビジネスサポート
対象者	次の条件を満たす法人および個人事業主 ・広島銀行エリア内の取引先 ・同一事業の業暦3年以上	次の条件を満たす法人および個人事業主 ・呉信用金庫の会員 ・業歴3ヶ月以上
使 途	事業に必要な運転資金並びに設備資金	運転資金または設備資金
金 額	30万円～1000万円	2000万円以内
期 間	7年以内	7年以内
利 率	変動利率：所定の金利 ※下記条件を満たせば最大0.9%の金利引下げ ・広島銀行との預金取引が5年以上：0.3% ・中小企業倒産防止共済への加入：0.3% ・過去1年で雇用者数が増加しているか、今後1年以内で増加予定であること：0.3%	固定金利：金利については窓口までお問い合わせ下さい。 「中小企業の会計に関する指針」を適用した計算書類を作成していることが確認できる(※)場合は利率を年0.2%優遇します。 ※「中小企業の会計に関する指針の適用に関するチェックリスト」の提出を受けられること

※詳しくは、お近くの各金融機関へお問い合わせください。

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協力会の今後の活動予定をお知らせ致します。
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

11月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修(第4回) 「高性能・高機能繊維材料の基礎と応用(Ⅱ)」

日時 11月14日(月) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センターVBLオフィス
講師 産学・地域連携センター 松井 亨景 特命教授

2 広島大学 新技術説明会2011 in 広島

日時 11月30日(水) 10:30~16:30 場所 広島ガーデンパレス

3 産学連携研究助成事業 公募開始(11月末まで)

12月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修(第5回) 「バイオプラスチック」

日時 12月12日(月) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センターVBLオフィス
講師 産学・地域連携センター 白浜 博幸 准教授

2 技術・研究紹介と交流のゆうべ(第4回)

日時 12月中旬を予定 17:00~19:00 場所 コラボスクエア

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/techrd/>

産学官連携推進研究協力会についての入会方法および活動情報の URL は
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/kyouryokukai/> をご参照ください。

■ コーディネーター紹介 no.01 企業の皆様からのご相談に対応する、産学官連携コーディネーターを紹介致します。第一回は松井亨景氏。



松井 亨景 Michikage Matsui

担当業務：文部科学省採択事業支援、産学官連携高度専門職人材育成、受託研究受入れ、海外技術移転人材育成

技術分野：高分子成形、高性能材料、高機能材料、繊維、フィルム、技術移転

職歴等：繊維関連企業出身、文科省産学官連携コーディネーター（工学博士）

ひとこと：企業定年以後広島大学に参りました。教授を退職後、産学官連携コーディネーターとして地域産業との関わりから国際技術移転まで全方位で産学官連携に取り組んでいます。大学の自立化に向け、人材育成や技術移転ケースワークづくりが目標です。

編集後記

先日、マツダスタジアムへカープ観戦に行きまして。今年は、結果としてはCS出場を逃し14年連続のBクラスとなってしまいましたが、一時的とはいえ首位に立ち、8月にも2位に再浮上するなど、例年に比べて期待を持てたシーズンでした。

またBクラスが確定したにも関わらず、訪れた観客全員の一生懸命な応援で球場は熱気に包まれており、カープがいかにファンに愛されているかがよく解りました。

きっと今年の経験は来年に「つながる」と信じて、これからも応援を続けていきたいと思えます。我々も地元の皆様に愛され、より一層強固に皆様と「つながる」よう、頑張ってまいります。
(森下 浩明)



発行：産学官連携推進研究協力会事務局（広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内）

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL：082-424-5673/FAX：082-424-6189/E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先：広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目10番31号 TEL：082-421-3631/FAX：082-421-3639/E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp